

10月
臨時号

おおねぶ

令和7年10月20日(月)

校訓
教育目標
めざす児童像

心美しく たくましく
学びへの意欲をもち、やさしさとたくましさをあわせもったねぶっ子の育成
自ら考えともに学び子(知) 心豊かで思いやりのある子(徳) 健康でたくましい子(体)

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

7月の前期保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。学校では、ご回答いただきました「保護者アンケート」と、同時期に実施しました「児童アンケート」の結果分析及び「学校評議員会」でのご意見を生かし、よりよい学校となるよう今後も取り組んでまいります。保護者・児童アンケートの結果について、以下の通りお知らせいたします。

保護者・児童アンケートより

保護者アンケートの14項目中10項目1・2・3・4・5・8・9・10・11・12において、肯定的な評価(A+B>90%)をいただいております、特に1・2・4・9・10・11・12についてはA+Bが95%を超えています。「2. お子様は、早寝早起きの習慣を身につけ朝8時までに登校できている」が3%上昇、「10. 学校は各種便りや学校HP等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へわかりやすく伝えている」が2%上昇しました。保護者の皆様のご協力とご理解をいただいていることに感謝し、今後も教職員一同子供たちのために頑張っていきたいと思っております。

一方、「6. お子様は、家庭学習の習慣が定着している」「7. お子様は、家庭でも読書をしている」「14. お子様は、目標をもって物事に取り組んでいる」は、80%を下回る結果となりました。6・7においては、児童アンケートからも同様に課題が見られます。この3つの項目につきましては、今後も改善に向け、重点的に取り組んでまいります。ご家庭との連携と子供の意識改革が重要だと考えておりますので、取り組みに対するご理解・ご協力を今後もよろしくお願いいたします。また、委員会活動でも児童が中心となって取り組む企画を行い、児童自身の意識を高めながら成果を上げていきたいと考えております。成果が一過性のものにならないように今後も継続して声かけやふりかえりを行ってまいります。



※下記に「保護者アンケート」「児童アンケート」の集計結果を載せてあります。

保護者の方のご意見

自由記述による、ご意見をいただきありがとうございました。皆様からのご意見を、下記に一部紹介させていただきます。なお、個別のものにつきましては、各担任からご連絡させていただきました。今後もしも不明の点があれば、随時、お問い合わせください。

- 他校では名札を学校で着け外しています。登下校時に名札をみて名前を呼ばれると、見知らぬ人でも子供は気を許しがちです。防犯対策のためにも学校で着脱するなど検討してください。

A：先日もお便り等でお知らせしましたように、安全対策のため、3学期から名札の着脱は学校で行い、校内でのみ、名札をつけることとなります。(上着等に縫い付けてある場合は、この限りではありません。)

来年度新入生から、名札も着脱しやすいものに変更、統一していくことになっております。

- テトルで朝、病欠の連絡をしたあと、病院に行ったら病名が分かった時に、テトルで症状の追加入力できるようになると嬉しいです。また先生の方から、休んだ日の宿題の連絡なども、テトルできるようになれば便利かと思いました。夕方に電話をくれる先生もいるので、少しでも先生の負担が減らせると思います。

A：お心遣いありがとうございます。

「tetoru」での保護者の方からの欠席等の連絡は、8時以降、受け付けることはできませんが、学校から保護者の方への返信連絡は可能です。そのため、11月からは、欠席理由が明確な場合については「tetoru」にて翌日の予定等のお知らせをしていきたいと思っています。保護者の皆様には、「tetoru」でのご確認をよろしくお願いいたします。ただ、欠席が長期になる場合や特別な事情がある場合等、保護者の方との双方向のやり取りや相談が必要な場合は、これまで同様電話連絡をさせていただくことになります。

- 2学期の通知表渡し、3学期同様、子供に渡すことになりましたが、先生や保護者の負担軽減でしょうか？学校の様子を聞ける機会だったため、少し残念です。

A：1学期の「通知表渡しのお知らせ」でもお伝えしましたように、2学期につきましては、担任との懇談を希望される保護者の方は、これまでと同様に通知表渡しをさせていただきます。学校の様子を聞ける機会ですので、懇談を希望される方は、後日配付のお便りを通してお伝えください。

- インターネットやゲームの時間が長くなる日が多く、ノーメディアデーがほとんどありません。注意してもなかなかやめられません。

A：メディアを使う時間を減らすことがなかなか難しくなっているご家庭が増えているのが現状です。ご家庭と学校の連携がより一層重要になります。学校では、なぜメディアを使う時間を減らす必要があるのかを保健指導の折にも具体的に伝えていきます。また、先にお知らせしましたように、11月には、学校保健委員会による「ネット依存と心と体の健康」に関する講演会も全児童と保護者の皆様対象に実施します。これを機に、ご家庭でも親子で話し合いルール作りの見直しの参考にさせていただければと思います。

9/8(月)第1回学校評議員会を行い、学校経営についてのご助言をいただきました。

◆今年度の学校評議員は以下の皆様です。

会長 行野 修一 様 (元大学公民館長)
委員 小林 由利子 様 (主任児童委員) 新谷 外代治 様 (安全ボランティア代表)
松川 仁美 様 (ハマナス公民館長) 府坂 幸愛 様 (PTA 代表)

- ・小グループでの学習場面では、少人数あるため積極的に話し合う様子が見られた。聴く側は、話し手に体を向け、反応しながら聴いていた。この力を積み上げてほしい。
- ・1人1台端末(クロムブック)での文字入力を行っているが、文字離れが気になる。ノートに正しく書くという視点も大事にしていくとよい。
- ・重大なことにつながるいじめがないことは、安心できる。
- ・世間では、SNS上のトラブルが多いようだが、学校でSNS等の使用時間を決めているのか。→ルールやよりよい向き合い方の指導は学校でも継続しているが、使用時間を決めることまではしていない。→心配な様子があると思うので、今後家庭と連携して、さらに力を入れて取り組んでほしい。
- ・高学年に限らず、低中学年でもスマホを持っている児童が多く、グループラインを作っているようで心配の声があがっている。低年齢化してきていることが懸念される。

貴重なご意見をありがとうございました。今後の教育活動にいかしてまいります。